

北辰 13期生
134回 歩こう会
2018 11. 26

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

真つ赤だな 社殿もかえでも

11月26日、134回歩こう会は、坂野さんの案内で万葉の里、多武峯街道にある談山神社を訪ねました。10時30分、近鉄桜井駅集合で岡田さん、向井さん、谷村さんと畝狭の5人が参加し、折からの紅葉とともに更けゆく万葉の秋を満喫しました。

談山神社の由来は祭神である藤原鎌足が中大兄皇子と大化の改新の談合をこころ多武峰で行い「語らい山」「談所ヶ森」と呼んだことによるとされています。



山門前で

背後の鳥居から本殿まで140段の石段が続きます。本殿は極彩色で絢爛豪華な様式で知られています。



回廊から見た石灯籠



極彩色の本殿

拝殿回廊からの眺望も見事で眼下に見える六角型石灯籠は鎌倉時代後期の作とみられ、重文に指定されています。



紅葉の間から十三重塔

藤原鎌足の追福の為に建立された木造十三重としては世界唯一のもので紅葉に映えて時間の経つのも忘れれます。



蹴鞠の庭

藤原鎌足と中大兄皇子が飛鳥寺の蹴鞠会に初めて会い、大化の改新の発端となった故事にちなんで毎年 4月29日昭和の日と11月3日文化の日に「けまり祭り」が行われます。



神廟拝所の特大の絵馬

藤原鎌足像が祀っている神廟の外壁には今年の干支戌にちなんで仔犬5匹を描いた高さ164cm 幅274cmの大絵馬が掛けられています。

今日はウィークデイにも関わらず観光バスも多く定期バスも満員でした。



バスターミナルで

お天気にも恵まれ快い疲れと充足感で帰路につきました。